

日時：2017年7月2日(日)10:00～16:30

会場：東京医科歯科大学歯科棟南4階特別講堂  
(旧事務棟4階特別講堂)講師：東京医科歯科大学顎口腔外科学分野  
原田 浩之 教授樺沢 勇司先生 島本 裕彰先生  
津島 文彦先生 丸川 恵理子先生  
富岡 寛文先生 平井 秀明先生

ホームページ申込み

定員 160名

振込用紙申込み

会費 A

医師・歯科医師：事前受付け¥21,000 当日受付け¥24,000  
医師・歯科医師以外：事前受付け¥15,000 当日受付け¥17,000

巷での「がんと闘わない～」というフレーズに対して、腫瘍、炎症、外傷と日々第一線で『闘う』口腔外科教室員による「エビデンスと経験にもとづいた正しい知見」を得る講演会です。

患者さんが最初に頼る口腔領域の専門家は、大学病院の口腔外科ではなく身近なGPです。腫瘍、外傷、重症化した炎症を抱えた人が、いつ先生の診療所に飛び込んでくるかわかりません。

根拠のある抗菌剤の処方、糖尿病と歯性感染症の本当の恐ろしさ、顎変形症へのオペの適応基準とその術式、切開・排膿のタイミング、各症例へのレーザー照射の妥当性と有効性と安全性、Pulに対する抗菌剤の使用、などなど。「あいまいな知識や見通しの甘い経過観察が、骨髄炎や顎骨再建に至ったケースを多く見ている」とおっしゃる演者から、最新の口腔外科の「スタンダードな診療」と「手遅れにならない診断力」を学んでください。

最新版「抗菌薬処方ガイドライン」、紹介元開業医向けの講演会で好評を博した「皆が知りたい口腔がんの見分け方」、口腔外科ならではのオペ動画や症例写真も、数多くご紹介頂きます。

## 講演項目

- 口腔腫瘍 (原田、島本、富岡、平井)
  - ・エコー、CT、MRI、PETの組み合わせ方
  - ・顎骨再建時の機能温存のために
    - －咬合、機能、形態、顔貌をいかに変えないか
  - ・大学病院でのチーム医療
    - －医学部放射線科、摂食嚥下リハビリテーション、顎義歯、緩和ケア
  - ・発癌と遺伝子の関係
    - －口腔がんの場合、
  - ・口腔がんの早期発見、早期治療
  - ・大学病院での化学療法の実際
- 粘膜病変の診かた (原田、津島)
  - ・口腔粘膜疾患の見分け方
    - －口内炎、カンジダ、扁平苔癬、白板症、天疱瘡
  - ・ハチミツ、グルコサミン、グルタミン
  - ・患者さんに痛みがなく、QOLを下げずにコントロールする
  - ・口腔乾燥
    - －プロトンポンプインヒビター
  - ・口腔粘膜疾患の悪性化についての臨床統計
- 抜歯 (丸川)
  - ・CBCTの応用
  - ・抜歯後の治癒促進のために
    - －ソケットプリザベーション
    - －抜歯窩に何か入れるか
    - －縫合はするか
    - －コラーゲンスポンジ、TCコーン
- 移植・再植 (丸川)
  - ・インプラントとどちらが良いの？
- 外科的矯正治療 (樺沢)
  - ・患者さんから相談を受けた時のために
  - ・顎顔面の非対称症例
  - ・東京医科歯科大学歯学部附属病院でのチーム医療 (動画あり)
- 顎関節症 (高原)
  - ・CBCT、MRIを用いた新たな診断法
  - ・顎関節の脱臼
- 顎口腔領域の歯性感染症 (原田、樺沢)
  - ・こうなる前に大学病院に送ってほしい
    - －外来で実際に診た症例から
    - －蜂窩織炎
    - －下顎骨周囲炎
    - －上顎洞炎
  - ・最新の抗菌薬の正しい使い方
    - －フロモックスとジスロマックが効かない時に
  - ・開業医が知っておくべき顎骨髄炎
    - －保存的治療、外科的治療
  - ・放射線性骨髄炎への対応
    - －抜歯の判断
  - ・最新の顎骨壊死について
    - －BRONJからMRONJへ
- 外傷 (原田、樺沢)
  - ・顎骨骨折の治療法
    - －保存的治療、外科的治療 (オペ動画あり)
  - ・東京医科歯科大学での連携
    - －形成外科、整形外科
  - ・歯の脱臼

-それぞれの適応と予後 (動画あり)